

2026 年 9 月 4 日

関係各位

一般社団法人 鳥取県社会福祉士会

会長 朝倉香織

(公印省略)

2026 年度 第 1 回 保健医療委員会研修会

激動の転換期における倫理綱領の実装

— ミクロ・メゾ・マクロをつなぐ 今日的ソーシャルワーク実践 —

平素より鳥取県社会福祉士会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、2026 年度第 1 回保健医療委員会研修会を、下記のとおり開催いたします。

パンデミックを経た社会、AI 技術の急速な進展、物価高騰、災害の頻発、孤立・孤独の深刻化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、向き合う課題も複雑化しています。こうした転換期に、制度や手順だけでは答えの出ない場面で、社会福祉士は何を拠り所に支援を組み立てるのか。本研修では、倫理綱領に示された価値や原則を、個別支援から組織・地域・社会へとつながるソーシャルワークにどう「実装」するかを考えます。

第 1 部では、特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター 地域連携部 副部長の林 真紀氏を講師に迎え、今日的な社会状況を踏まえ、倫理綱領がソーシャルワークをどう導くかをご講演いただきます。第 2 部では、鳥取県内の医療分野で活動する 3 名の会員から、意思決定支援、身元保証困難ケース、入退院支援を題材に報告いただき、パネルディスカッションを通じて、倫理綱領を日々の支援や組織・地域への働きかけにどう生かすかを皆さんと考えます。

激動の転換期、社会福祉士の実践をどう導くか。

INFORMATION 開催概要

DATE / 日時

2026 年 12 月 5 日（土） 14:00–17:00

受付 13:30–

VENUE / 会場

米子コンベンションセンター 第 5 会議室

FEE / 参加費

会員 無料 / 非会員 2,000 円

40 名程度（先着順）

ENTRY / 申込受付

2026 年 9 月 4 日（金）～

定員に達し次第締め切り

対象 鳥取県社会福祉士会会員、鳥取県内および松江医療圏の医療ソーシャルワーカー等

LECTURE 林 真紀 氏

倫理綱領の実装を、ミクロ・メゾ・マクロから捉える。

PRACTICE + DIALOGUE 3 つの実践報告＋対話

意思決定支援・身元保証・入退院支援を題材に考える。

PROGRAM

当日のプログラム

講演だけで終わらない。現場の迷いを、言葉にして考える。

13:30	OPEN 受付開始
14:00-14:10	開会・趣旨説明
14:10-15:10	LECTURE 第1部 招待講演 「激動の転換期における倫理綱領の実装 ― ミクロ・メゾ・マクロをつなぐ今日的ソーシャルワーク実践 ―」 LECTURER / 講師 林 真紀 氏 特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター 地域連携部 副部長
15:10-15:20	BREAK 休憩
15:20-15:25	SESSION 02 第2部 趣旨説明・パネリスト紹介 モデレーター：林 真紀 氏 / 河村 香苗 氏（鳥取大学医学部附属病院）
15:25-15:45	REPORT 01 長谷川 沙織 氏 鳥取市立病院 地域医療総合支援センター 患者サポートセンター 社会福祉士／医療ソーシャルワーカー 「多職種協働による意思決定支援 ～制度の狭間で抱く倫理的ジレンマ～」
15:45-16:05	REPORT 02 三村 政樹 氏 医療法人真誠会医療福祉連携センター 副主任 「身元保証困難ケースに向き合って ―倫理綱領を羅針盤とした実践報告―」
16:05-16:25	REPORT 03 礪邊 佳恵 氏 鳥取県済生会境港総合病院 医療連携課 副課長 「正解のない入退院支援 ～倫理綱領と済生会の使命～」
16:25-16:55	DISCUSSION パネルディスカッション・質疑応答・全体討議
16:55-17:00	CLOSE 連絡事項・閉会

※時間配分および質疑応答・全体討議の時間は、進行状況により調整する場合があります。

AFTER SESSION 研修後の懇親会

18:00-20:00

大衆酒場 フタバ 鳥取米子店

鳥取県米子市明治町 157 1F

会費 5,000 円 | 任意参加

ENTRY 参加申し込み



鳥取県社会福祉士会

研修受講申し込みフォーム

受付開始 2026 年 9 月 4 日（金）～
定員に達し次第締め切り

<https://www.csw-tottori.jp/cgi-bin/entry/index.cgi>